

紀國人移住碑

〒0479-22-9800 MAP/P26-D3
 鮎子木国会事務局 (ヤマサ醤油(株)内)

江戸時代に多くの紀州人(和歌山県の人たち)が鮎子へ移住して本格的な漁業や醤油醸造業など鮎子の発展に大きく寄与しました。彼らの功績を讃えるため紀州人を祖先に持つ鮎子木国会が移住碑を明治36年に妙福寺境内へ建立したものです。 JR鮎子駅から500m徒歩7分 無料



小林一茶句碑

〒0479-22-1201 MAP/P26-D3
 一立山無衰院浄国寺事務所

本堂の裏手はかつて望西台と呼ばれ利根川を望む日観亭という庵があり小林一茶や渡辺華山など多くの文人墨客が訪れました。一茶の句碑は浄国寺と檀家総代、鴈俳句会などの手により平成17年に建立されました。 JR鮎子駅から600m徒歩8分 無料



白幡神社

〒0479-22-0934 MAP/P26-D3
 鮎港神社事務所

白幡神社は江戸時代から鮎子の中心地に鎮座し高崎藩や仙台藩などから奇進を受けたり地元の商家に支えられてきました。境内には鮎子最古の庚申塔や石巻の船乗りたちが航海の安全を祈願した庚申塔が残っています。 JR鮎子駅から700m徒歩9分 なし



妙福寺

〒0479-22-0650 MAP/P26-D3
 妙見宮妙福寺事務所

寺として有名な妙見宮妙福寺では毎年4月下旬になると房が1.8m近くある見事な藤が満開になります。4つの藤棚の中でも樹齢約800年といわれる大木は龍が横たわっているように見えることから「臥龍(がりゅう)の藤」と呼ばれています。 JR鮎子駅から500m徒歩7分 無料



松尾芭蕉句碑

〒0479-22-1201 MAP/P26-D3
 一立山無衰院浄国寺事務所

芭蕉が37歳の時の作品で、つるべ落としの秋の陽が西山に傾く頃ふと見上げた大木の枝に葉が一枚もなく一羽のガラスがとまりなとも淋しいという句です。句碑は弘化2年(1845年)に鮎子の豪商らが芭蕉を追慕して建立しました。 JR鮎子駅から600m徒歩8分 無料



レンガ蔵

〒0479-22-0095 MAP/P26-D3
 ヤマサ醤油株式会社庶務課

ヤマサ醤油(株)本社工場西側の道路沿いに建ち並ぶレンガの建物は、大正4年から12年にかけて増設された醤油の仕込み蔵です。大正時代の風情とともに醤油の香りを楽しみながら散策できます。 鮎子電鉄ノノ町駅から徒歩350m徒歩5分 なし



浄国寺

〒0479-22-1201 MAP/P26-D3
 一立山無衰院浄国寺事務所

浄土宗の寺院で江戸時代には小林一茶や渡辺華山など多くの文人墨客が訪れています。境内には白梅や紅梅が多数植えられていて梅の寺としても有名です。また、松尾芭蕉と小林一茶の句碑も建立されています。 JR鮎子駅から600m徒歩8分 無料



陣屋町公園

〒0479-24-8945 MAP/P26-E3
 鮎子市役所都市整備室

江戸時代中期に高崎藩の陣屋が置かれ、郡奉行と2人の代官が執務を行っていました。公園内には高崎藩鮎子陣屋史跡記念碑が建てられています。また、桜の開花宣言を判断する標準木も植えられています。 鮎子電鉄観音駅から徒歩400m徒歩5分 なし



濱口梧陵紀徳碑

〒0479-22-0095 MAP/P26-D3
 ヤマサ醤油株式会社庶務課

ヤマサ醤油(株)第7代当主の濱口梧陵は安政南海地震で津波から村人を救った話「稲むらの火」の主人公で、コレラ防疫や政治の世界でも活躍しました。紀徳碑の揮毫は生前に親交があった勝海舟によるものです。 JR鮎子駅から350m徒歩5分 なし



飯沼観音

〒0479-22-1741 MAP/P26-E3
 飯沼山圓福寺事務所

鮎子を治めていた海上氏が篤く信仰した圓福寺の本堂で坂東三十三観音霊場の二十七番札所です。昭和中期まで境内と門前町は大いに賑わいました。毎朝6時からの護摩や写経の体験もできます。 鮎子電鉄観音駅から徒歩5分 無料(飯沼観音)



濱口吉兵衛銅像

〒0479-24-8707 MAP/P26-E3
 鮎子市観光プロモーション室

濱口吉兵衛は和歌山県有田郡広川町出身で鮎子醤油株式会社(現在のヒゲタ醤油株式会社)の社長を務める傍ら、貴族院議員として遭難が後を絶たない鮎子漁港の整備に奔走し、現在の日本一の漁港となる礎を築きました。 JR鮎子駅から1.1km徒歩14分 なし



鮎子セレクト市場

〒0479-25-5174 MAP/P26-D3
 鮎子セレクト市場/ヒューマンライブ株式会社

鮎子が大好きな地元の人たちがセレクトした海産物、農産物、おみやげ、弁当、お酒など上質な一品を多数販売しています。食事などのテナントも入っていて、しょうゆソフトクリームも食べられます。 JR鮎子駅から400m徒歩5分 9~18時 無休 無料



古帳庵句碑

〒0479-22-1741 MAP/P26-E3
 飯沼山圓福寺事務所

天保12年(1841年)に江戸の豪商鈴木金兵衛(俳号古帳庵)が鮎子の豪商らに招かれた際に詠んだ俳句で、今では鮎子の特徴を代表する一句として広く親しまれています。句碑には妻の句も一緒に刻まれています。 鮎子電鉄観音駅から徒歩150m徒歩2分 無料



磯角商店

〒0479-21-6662 MAP/P26-E3
 鮎子市文化財・ジオパーク室

磯角商店は1940年に廻船問屋を創業し1953年に現在の場所に移りました。主屋は全国から集めた多様な材木が使用され、屋内外に特徴的な意匠が施され、平成27年に登録有形文化財になっています。 鮎子電鉄観音駅から徒歩550m徒歩7分 建物内部は非公開 なし



河岸公園

〒0479-24-8945 MAP/P26-D3
 鮎子市役所都市整備室

河岸公園は利根川と鮎子大橋を望むビューポイントとして観光客にも人気です。鮎子駅前シンボルロードの終点にあり、平成8年3月までは対岸の茨城県神栖市波崎との間に渡し船が就航していました。 JR鮎子駅から750m徒歩10分 無料 なし



圓福寺

〒0479-22-1741 MAP/P26-E3
 飯沼山圓福寺事務所

奈良時代に創建された真言密教の古刹です。毎年2月15日には寛文9年(1669年)に京都織物師が刺繍で製作した縦3.5m横2.65mの釈迦涅槃図(千葉県指定有形文化財)が寺宝とともに公開されます。 鮎子電鉄観音駅から徒歩150m徒歩2分 無料 無料



渡辺學ミュージアム

〒0479-22-1741 MAP/P26-D3
 飯沼山圓福寺事務所

メールで問い合わせ [MAP/P26-D3 https://watanabe-gaku-museum.webnode.jp/](mailto:MAP/P26-D3@watanabe-gaku-museum.webnode.jp/) 鮎子市に生まれ育ち鮎子の海と漁場で働く人々を描き続けた日本画家・渡辺學の自宅跡地に建てられた美術館。代表作など10点あまりを展示。入館にはホームページから事前に予約が必要。 JR鮎子駅から300m徒歩4分 無料 2台※入館は事前予約が必要



大内かっぱハウス

〒0479-21-9850 MAP/P26-D3
 大内かっぱハウス&山口敏太郎の妖怪博物館

元鮎子市長の大内恭平氏が収集したかっぱに関する膨大なコレクションと作家でオカルト研究家の山口敏太郎氏の妖怪コレクションを多数展示しています。 JR鮎子駅から850m徒歩11分 無料 10~17時 平日休(土日祝日のみ開館) なし



周辺エリア 鮎子駅

飯沼水準原標石

〒0479-22-1741 MAP/P26-E3
 飯沼山圓福寺事務所

飯沼水準原標石は水準測量(高さの測量)の原点となるもので明治初期に利根川や江戸川の水準測量を開始する際にオランダ人技師リンドによって設置され、平成27年に選奨土木遺産に認定されました。 鮎子電鉄観音駅から徒歩5分 無料(飯沼観音)



母子河童像

〒0479-21-9850 MAP/P26-E3
 大内かっぱハウス&山口敏太郎の妖怪博物館

伝説の生きもの「河童」に魅せられた人で結成した鮎子かっぱ村の結成10周年を記念して建立されました。昔から河童は船を水難から守ってくれる存在として語り継がれていて、「大新河岸の親子河童」という民話が残っています。 JR鮎子駅から1km徒歩13分 なし

